

経営成績・財務分析 (2020年度)

経営成績に関する分析

■ 業績概況

雪印メグミルクグループは「グループ中期経営計画2022」に基づき、「4つの事業分野(乳製品事業分野、市乳事業分野、ニュートリション事業分野、飼料・種苗事業分野)における収益基盤の確立」に向けた取組みを進めました。この中では、機能性を軸としたヨーグルトおよびチーズなどの主力商品の戦略的拡大とプロダクトミックスの更なる改善、ニュートリション事業分野におけるマーケティング投資の継続による規模拡大と収益獲得の両立、種苗事業における戦略的拡大と収益基盤の整備、ならびにグループ経営資源の活用拡大やバリューチェーンの生産性向上によるグループ総合力の強化などに努めました。

以上の結果、当連結会計年度の連結経営成績につきましては、売上高6,151億円(前年同期比0.3%増)、営業利益197億円(前年同期比9.9%増)、経常利益216億円(前年同期比10.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は、149億円(前年同期比22.6%増)となりました。

■ 売上高

① 乳製品セグメント(乳製品事業分野+ニュートリション事業分野)

新型コロナウイルス感染症拡大により、内食需要の高まりが家庭用に追い風となる一方、業務用は、外食需要の落ち込みにより逆風となるなど、販売チャネルによって異なる影響を受けました。このような中、引き続き、バターは安

定供給に努めたことから前年並みに推移しました。油脂は積極的なプロモーション活動を展開したことで、前半は好調に推移しましたが、前年度(2019年度)第4四半期の内食需要の急激な増加の反動もあり、トータルでは減収となりました。チーズは家庭内でのおつまみ需要の増加や、「さけるチーズ」などのナチュラルチーズが好調に推移したことなどから微増収となりました。機能性食品はコロナ禍で好調なECビジネスにおいて、マーケティング投資を継続したことにより伸長しました。これらの結果、当セグメントの売上高は2,623億円(前年同期比5.3%増)となりました。

② 飲料・デザート類セグメント(市乳事業分野)

飲料は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、内食需要は堅調に推移したものの、外出機会減少に伴いコンビニエンスストアなどでの販売が減少したことにより、白物飲料、色物飲料ともに減収となりました。ヨーグルトは、機能訴求型商品の「ガセリ菌SP株」「乳酸菌ヘルベ」それぞれの価値訴求強化に向けた、プロモーション活動を展開し拡大を図りましたが、市場では免疫系の商品への注目が高まった影響を受け、減収となりました。デザートは新商品の発売など、商品力の強化に取り組み、内食需要の高まりもあり好調に推移しました。これらの結果、当セグメントの売上高は2,744億円(前年同期比3.3%減)となりました。

③ 飼料・種苗セグメント

牧草・飼料作物種子および飼料の販売物量減少や造園事業の減少などにより、売上高は433億円(前年同期比

0.8%減)となりました。

以上の結果に、共同配送センター事業、不動産賃貸事業などのその他セグメントの売上高350億円(前年同期比4.5%減)を加えた結果、売上高は6,151億円(前年同期比0.3%増)、17億円の増収となりました。

■ 営業利益

オペレーションコストが増加したことなどの影響があったものの、乳製品セグメントの家庭用商品における販売物量の増加や、固定経費の減少、宣伝促進費の効率的な運用に取り組んだことなどから、営業利益は197億円(前年同期比9.9%増)となりました。

財政状態に関する分析

■ 資産

当連結会計年度末の総資産は前連結会計年度末と比較して282億円増加し、3,986億円となりました。これは主に、建物及び構築物や機械装置及び運搬具、投資有価証券が増加したことなどによります。

■ 負債および純資産

当連結会計年度末の負債合計は前連結会計年度末と比較して80億円増加し、2,003億円となりました。これは主に、未払金が増加した一方で、資金調達を行ったことによる借入金が増加したことなどによります。

当連結会計年度末の純資産合計は前連結会計年度末と比較して201億円増加し、1,982億円となりました。これは主に、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したことなどによります。

キャッシュ・フロー分析

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

265億円の収入(前連結会計年度は243億円の収入)となりました。前連結会計年度との比較では、主に売上債権の増減額や法人税等の支払額が増加したものの、税金等調整前当期純利益や仕入債務の増減額が増加したことなどにより、22億円の収入増となりました。

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

270億円の支出(前連結会計年度は166億円の支出)となりました。前連結会計年度との比較では、主に有形及び無形固定資産の売却による収入が増加したものの、有形及び無形固定資産の取得による支出が増加したことなどにより、104億円の支出増となりました。

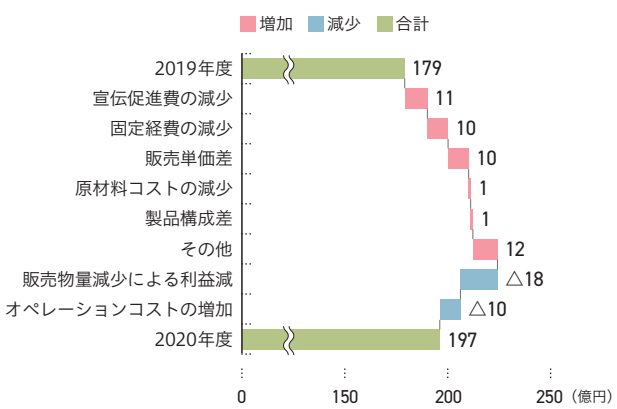
■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

67億円の収入(前連結会計年度は66億円の支出)となりました。前連結会計年度との比較では、主に長期借入れによる収入の増加や長期借入金の返済による支出の減少などにより、134億円の収入増となりました。

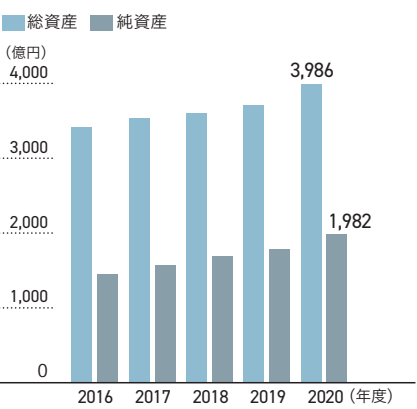
セグメント別売上高・営業利益

(単位:億円)			
	2019年度	2020年度	増減
売上高	6,134	6,151	17
乳製品	2,490	2,623	132
飲料・デザート類	2,839	2,744	△94
飼料・種苗	437	433	△3
その他	366	350	△16
〈参考〉乳製品のうちニュートリション事業分野の売上高			
ニュートリション	184	191	7
営業利益	179	197	17
乳製品	115	136	21
飲料・デザート類	52	41	△10
飼料・種苗	10	11	0
その他	1	10	8

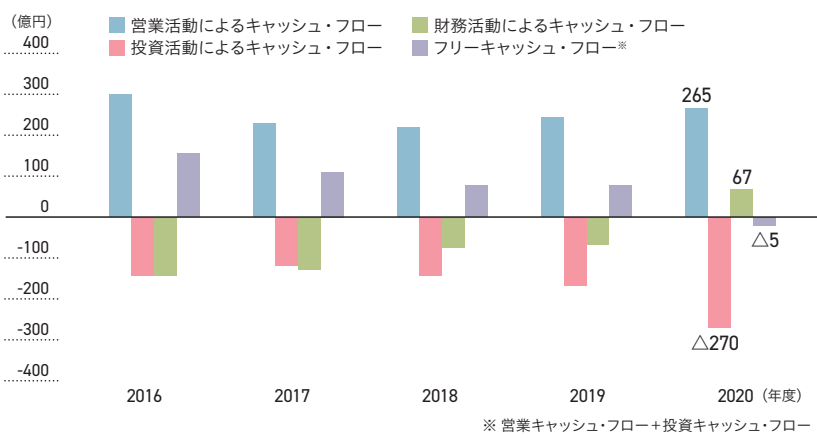
営業利益の増減要因



総資産・純資産



キャッシュ・フロー



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)			(単位：百万円)		
	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)		前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部					
流動資産					
現金及び預金	15,536	21,840	支払手形及び買掛金	55,354	55,002
受取手形及び売掛金	71,880	71,710	電子記録債務	5,436	4,784
商品及び製品	42,998	43,881	短期借入金	16,514	16,409
仕掛品	1,044	1,114	1年内返済予定の長期借入金	1,626	15,623
原材料及び貯蔵品	14,954	14,931	リース債務	910	793
未収入金	3,505	6,957	未払金	19,843	12,334
その他	1,678	1,657	未払法人税等	3,740	3,521
貸倒引当金	△ 410	△ 377	未払費用	7,752	8,019
流動資産合計	151,187	161,716	預り金	561	633
			賞与引当金	5,212	5,293
			その他	3,366	6,144
固定資産					
有形固定資産					
建物及び構築物	46,497	55,547	流動負債合計	120,319	128,558
機械装置及び運搬具	54,136	60,434	固定負債		
工具、器具及び備品	3,914	4,309	社債	10,000	10,000
土地	49,910	47,774	長期借入金	35,129	32,046
リース資産	4,917	4,230	長期預り金	4,997	5,018
建設仮勘定	11,654	4,981	リース債務	5,212	4,502
有形固定資産合計	171,031	177,277	繰延税金負債	858	5,149
			再評価に係る繰延税金負債	3,959	3,815
			役員退職慰労引当金	20	20
			ギフト券引換引当金	79	68
			退職給付に係る負債	10,017	9,570
			資産除去債務	1,298	1,331
			その他	446	312
無形固定資産					
リース資産	253	184	固定負債合計	72,019	71,835
ソフトウェア	1,854	1,859	負債合計	192,339	200,394
施設利用権	658	608	純資産の部		
のれん	719	645	株主資本		
その他	241	215	資本金	20,000	20,000
無形固定資産合計	3,727	3,512	資本剰余金	17,606	17,607
			利益剰余金	125,489	137,941
			自己株式	△ 4,961	△ 5,355
			株主資本合計	158,134	170,192
投資その他の資産					
投資有価証券	34,807	44,517	その他の包括利益累計額		
長期前払費用	364	277	その他有価証券評価差額金	10,747	16,952
退職給付に係る資産	2,246	4,024	繰延ヘッジ損益	△ 88	△ 3
繰延税金資産	3,006	3,092	土地再評価差額金	8,815	8,570
その他	4,317	4,466	為替換算調整勘定	△ 142	△ 48
貸倒引当金	△ 255	△ 234	退職給付に係る調整累計額	△ 2,354	△ 449
投資その他の資産合計	44,487	56,143	その他の包括利益累計額合計	16,977	25,020
固定資産合計	219,246	236,933	非支配株主持分	2,982	3,042
資産合計	370,434	398,650	純資産合計	178,094	198,255
			負債純資産合計	370,434	398,650

連結損益計算書

(単位：百万円)		
	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	613,405	615,186
売上原価	470,209	472,574
売上総利益	143,196	142,612
販売費及び一般管理費		
販売費	106,174	104,499
一般管理費	19,022	18,331
販売費及び一般管理費合計	125,197	122,831
営業利益	17,998	19,780
営業外収益		
受取利息	9	7
受取配当金	748	737
持分法による投資利益	1,085	1,233
その他	978	1,045
営業外収益合計	2,821	3,024
営業外費用		
支払利息	346	410
支払補償費	46	166
その他	746	565
営業外費用合計	1,140	1,142
経常利益	19,680	21,662
特別利益		
固定資産売却益	13	2,678
投資有価証券売却益	94	18
その他	—	455
特別利益合計	107	3,152
特別損失		
固定資産売却損	2	477
固定資産除却損	1,707	1,486
減損損失	576	1,282
火災損失	550	63
その他	66	349
特別損失合計	2,903	3,659
税金等調整前当期純利益	16,885	21,156
法人税、住民税及び事業税	5,057	5,589
法人税等調整額	△ 464	588
法人税等合計	4,593	6,177
当期純利益	12,291	14,978
非支配株主に帰属する当期純利益	126	64
親会社株主に帰属する当期純利益	12,165	14,913

連結包括利益計算書

(単位：百万円)		
	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	12,291	14,978
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	135	6,084
繰延ヘッジ損益	65	84
為替換算調整勘定	32	80
退職給付に係る調整額	△ 405	1,869
持分法適用会社に対する持分相当額	150	167
その他の包括利益合計	△ 20	8,286
包括利益	12,271	23,265
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	12,146	23,202
非支配株主に係る包括利益	124	62

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)		
	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	16,885	21,156
減価償却費	16,157	15,917
減損損失	576	1,282
持分法による投資損益 (△は益)	△ 1,085	△ 1,233
のれん償却額	92	89
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△ 86	△ 53
賞与引当金の増減額 (△は減少)	221	80
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△ 341	△ 582
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	249	1,062
ギフト券引換引当金の増減額 (△は減少)	△ 9	△ 10
固定資産除売却損益 (△は益)	1,704	△ 714
受取利息及び受取配当金	△ 758	△ 745
支払利息	346	410
売上債権の増減額 (△は増加)	3,271	△ 137
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△ 2,864	△ 939
仕入債務の増減額 (△は減少)	△ 3,422	△ 231
その他	△ 4,024	△ 3,693
小計	26,911	31,656
利息及び配当金の受取額	1,039	1,101
利息の支払額	△ 388	△ 393
法人税等の支払額	△ 3,239	△ 5,796
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,322	26,567
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△ 10
定期預金の払戻による収入	50	12
貸付けによる支出	△ 66	△ 295
貸付金の回収による収入	44	159
有形及び無形固定資産の取得による支出	△ 16,705	△ 31,122
有形及び無形固定資産の売却による収入	100	4,171
投資有価証券の取得による支出	△ 109	△ 17
投資有価証券の売却による収入	123	67
その他	△ 67	△ 40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 16,629	△ 27,076

財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△ 523	△ 105
長期借入れによる収入	920	12,540
長期借入金の返済による支出	△ 3,226	△ 1,626
自己株式の取得による支出	△ 19	△ 394
配当金の支払額	△ 2,708	△ 2,705
非支配株主への配当金の支払額	△ 2	△ 2
その他	△ 1,091	△ 933
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,651	6,771
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	42
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,052	6,305
現金及び現金同等物の期首残高	14,303	15,524
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	168	—
現金及び現金同等物の期末残高	15,524	21,829

雪印メグミルク 会社概要

商号	雪印メグミルク株式会社 MEGMILK SNOW BRAND Co., Ltd.	設立年月日	2009年10月1日	
事業内容	牛乳、乳製品および 食品の製造・販売など	代表取締役社長	西尾 啓治	
		資本金	200億円	
		決算期	3月31日	
		従業員数	5,669名(連結)	
		上場取引所	東京・札幌の各証券取引所	
本店所在地	北海道札幌市東区苗穂町6丁目1番1号	証券コード	2270	
本社所在地	東京都新宿区四谷本塩町5番1号	株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社	

社外からの評価

格付投資情報センター
(R&I)
(発行体格付 2020年8月発表)

A-

DBJ 環境格付

株式会社日本政策投資銀行が実施する「DBJ 環境格付」において、2016年に「環境への配慮に対する取組みが十分」という評価を受けました。



Sompo Sustainability Index

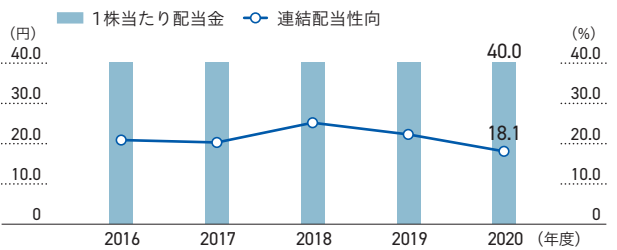
損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社 (SNAM) による ESG 評価。雪印メグミルクは「SNAM サステナブル運用」の運用当初(2012年)より10年間、継続して構成銘柄に選定されています。



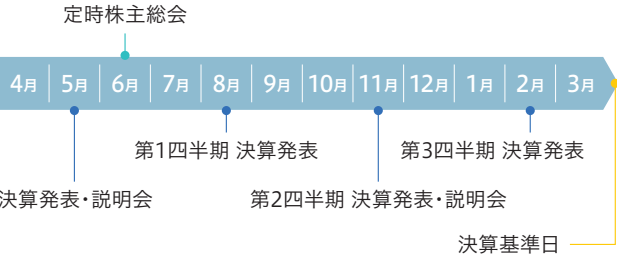
IR 活動の実績

	2018	2019	2020
投資家・アナリスト向け決算説明会	2	2	4
スモールミーティング	11	11	8
うち社長出席	2	2	2
個別ミーティング	117	96	62
個人投資家説明会	4	6	0

株主還元



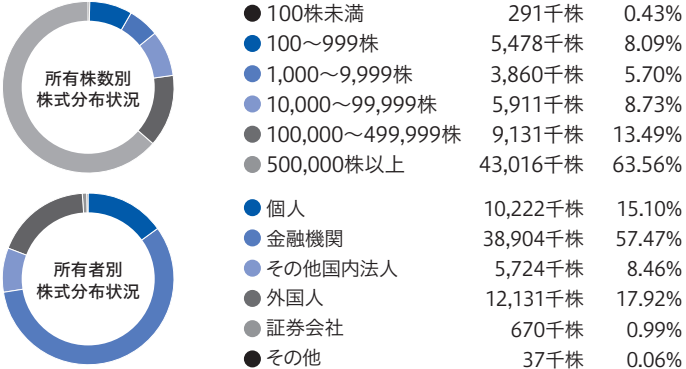
IR カレンダー



株式の状況

発行可能株式総数	280,000,000株
発行済株式の総数	70,751,855株
株主数	44,275名

株式の分布状況



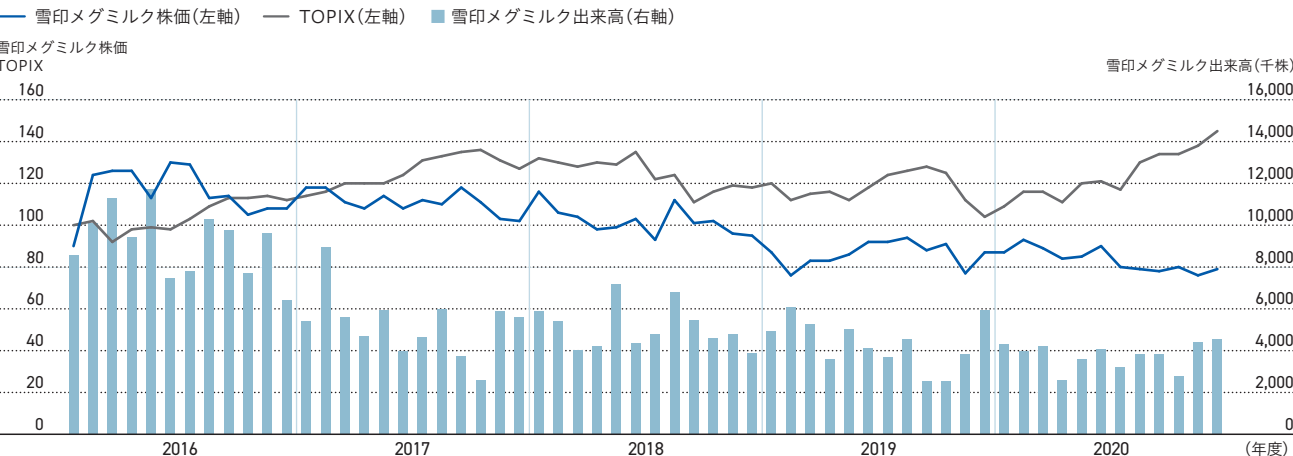
(注1) 株式数は、千株未満を切り捨て表示しています。
(注2) 雪印メグミルクは、自己株式3,061,354株を保有していますが、上記からは控除して計算しています。

大株主 (上位10位)

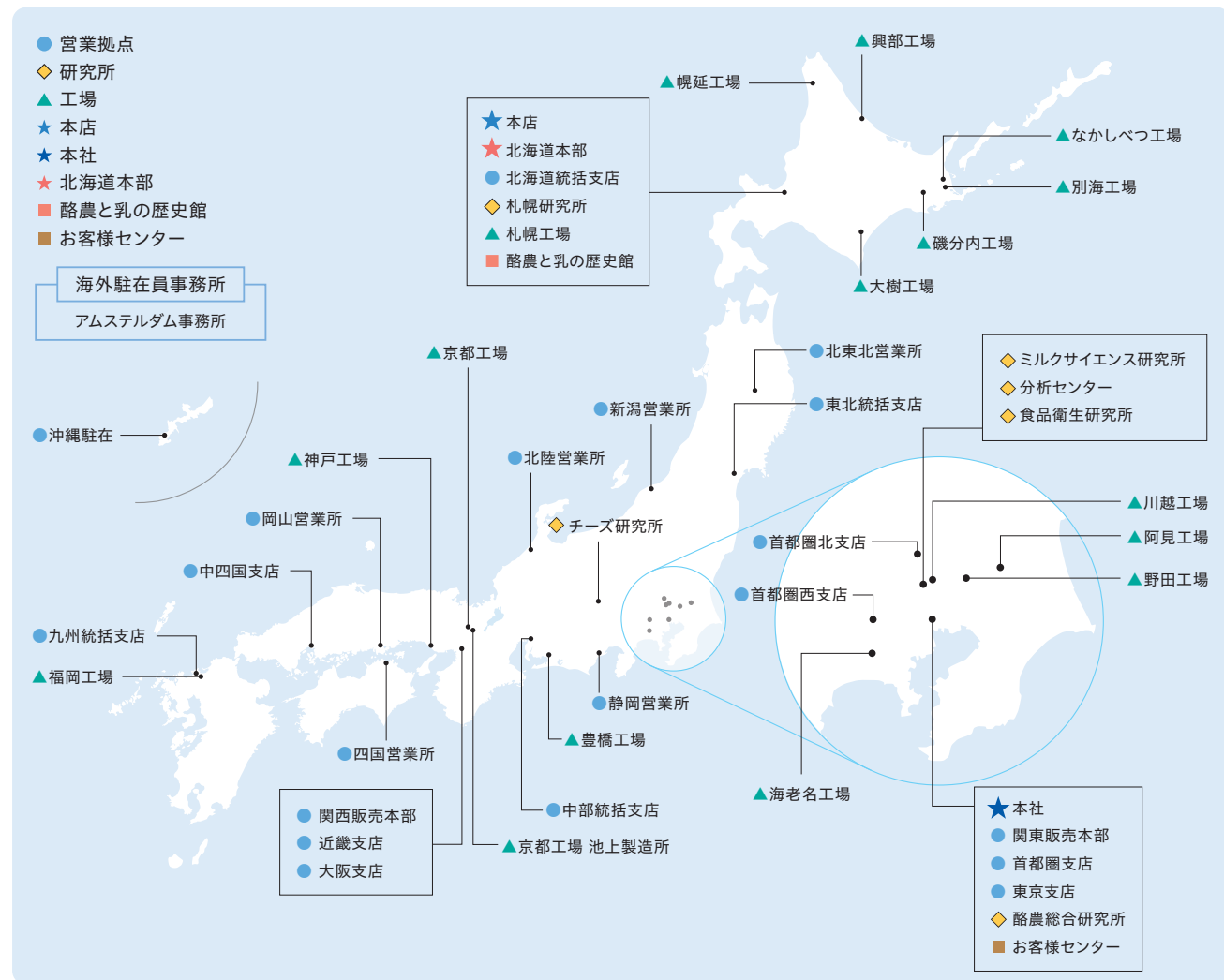
株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
全国農業協同組合連合会	9,237	13.64
農林中央金庫	6,728	9.93
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,183	6.18
株式会社日本カストディ銀行(三井住友信託銀行再信託分・伊藤忠商事株式会社退職給付信託口)	3,703	5.47
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,490	5.15
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	1,589	2.34
雪印メグミルク従業員持株会	1,188	1.75
株式会社三菱UFJ銀行	1,083	1.60
ホクレン農業協同組合連合会	1,074	1.58
全国酪農業協同組合連合会	1,008	1.48

(注1) 株式数は、千株未満を切り捨て表示しています。
(注2) 雪印メグミルクは、自己株式3,061,354株を保有していますが、上記大株主から除外しています。また、出資比率は自己株式を控除して計算しています。

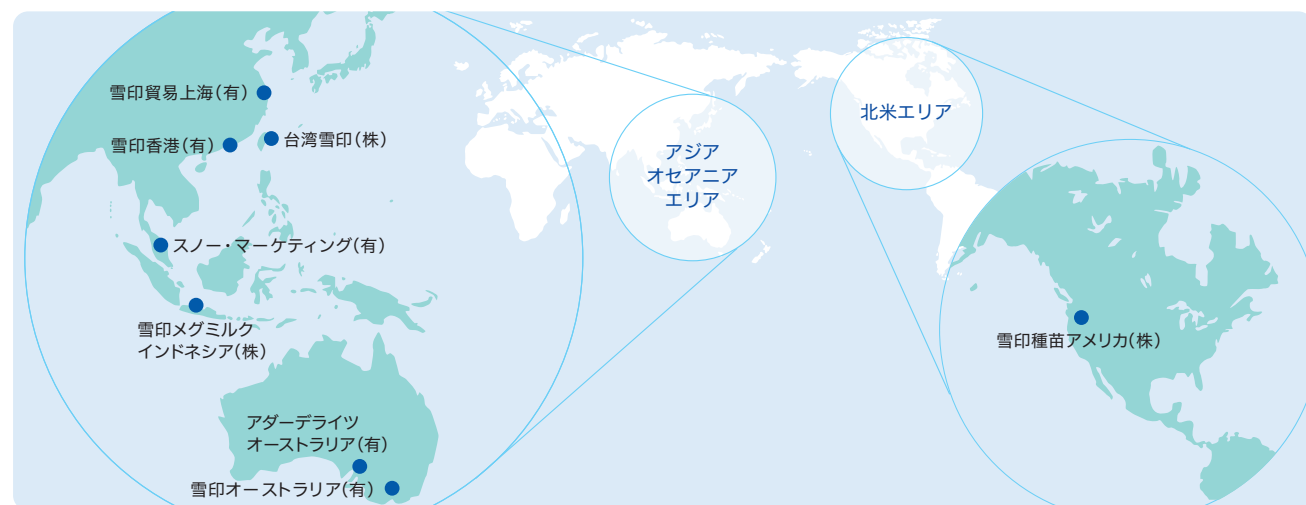
株価および出来高の推移



雪印メグミルク 事業所一覧



雪印メグミルクグループ 海外拠点



情報開示体系



編集方針

雪印メグミルクグループは、株主・投資家を含む幅広い読者の皆様に、雪印メグミルクグループの中長期における持続的な成長に向けた考え方や取組みをお伝えし、ご理解いただくことを目的に、「雪印メグミルクレポート」を発行しています。なお、本レポートに掲載しきれなかった項目を含め、最新の財務・非財務関連情報については、雪印メグミルクホームページにて紹介しています。

1. 社外の声を反映して制作しました
制作段階で、企業倫理委員会からの意見・要望を反映しました。
2. 経営職の表記について
雪印メグミルクでは、管理職を経営職と呼称しています。本レポートでは、表記を経営職に統一しています。

おことわり
本レポートに記載されている業績予想などの将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、雪印メグミルクグループが判断した見通しであり、その達成を雪印メグミルクグループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは、業況の変化などにより、本レポートの予想数値と異なる場合があります。

報告対象期間
2020年度(2020年4月1日～2021年3月31日)
ただし、必要に応じてその他期間の内容も一部掲載しています。

報告対象組織
本レポートに記載した情報は、雪印メグミルクグループ(雪印メグミルクおよびそのグループ会社)を対象としています。ただし、対象企業すべての情報を網羅しているわけではありません。また、社名の表記のないものは、雪印メグミルクの取組みです。

参考にしたガイドライン

- 国際統合報告評議会(IIRC)「国際統合報告フレームワーク」
- GRI スタダード
- ISO26000「社会的責任に関する手引」
- 経済産業省「価値協創のための総合的開示・対話ガイダンス」

発行時期
今回の発行:2021年9月
次の発行:2022年秋(予定)
(本レポートは、年次版として毎年発行します)

お問い合わせ先
雪印メグミルク株式会社 CSR 部
東京都新宿区四谷本塩町5番1号
Tel: 03-3226-2064 Fax: 03-3226-2163